

計量管理協議会々報

< 第47次通常総会開催 >



平野会長挨拶

去る5月19日に本会の第47次通常総会が開催され、盛会のうちに無事終了致しました。ここにその概要をお知らせ致します。

日 時 平成23年5月19日(木) 14:30～
 場 所 オークラ千葉ホテル
 出席会員数 出席37社 委任状17社
 (現会員数62社)

来賓

千葉県計量検定所 所長 白井 幸雄様
 千葉市計量検査所 所長 三浦 修様
 千葉県計量検定所総務企画課 宮内 実様
 一般社団法人千葉県計量協会 会長 恵藤 敏郎様
 (日本計量新報社 取締役社長 横田様は都合により欠席)

1. 開会の辞

第一副会長 JFEスチール(株)東日本製鉄所
 制御部 桐谷部長

2. 会長挨拶

みなさんこんにちは。本協議会の会長を仰せつかっております住友化学千葉工場の平野です。開会に当たりまして、一言御挨拶させていただきます。

本日、第47次通常総会の開催に当たり千葉県計量検定所 白井所長様はじめご来賓の皆様、並びに会員各位の皆様には、御多忙中にも関わらず御臨席を賜りありがとうございます。また準備に当たられました役員会社の理事の皆様にもこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

さてさる3月11日に発生しました東日本大震災では千葉県内でも大きな被害が発生いたしました。被災されました皆様には慎んでお見舞い申し上げます。

わが国経済が、輸出や生産に一部持ち直しの動きが見えてきたものの、雇用情勢は依然厳しく本格的な自律回復過程に入っていない段階での大震災の発生でありまして、今後のわが国の経済、ひいては世界経済に大きな影響がでてくるものと思われま。

一方で、これから本格的な復興・復旧工事が開始されますと、製品の動きが非常に活発になることも予想されます。

このような状況のもとで、生産活動の基本であります、製造効率化、品質維持そして環境保全のための計量・計測・他の関連技術の向上が益々重要となってくるものと考えられます。

本協議会の各種活動を通じて、関係者や関係官庁などのご支援・ご協力を頂きながら、少しでも経済も活性化、被災地の復興・復旧に貢献して参りたいと思っております。

本協議会としましても、時代に対応した組織体制の強化、合理化を進めるとともに、会員相互間

のみならず、他の計量関係団体との垣根を越えた技術交流、情報の共有化を進化させ、会員会社ならびに社会に対しより貢献できるよう本協議会を発展させることが重要であると考えております。今後とも、会員各位の一層のご協力をお願いする次第でございます。

只今から、平成22年度事業活動と新年度事業計画につきましてご報告しご審議賜りますが、皆様におかれましては、忌憚のないご意見を頂きまして有意義な総会と致したく存じますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に、ご来賓の皆様、会員会社の皆様の尚一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご繁栄を心から願ってご挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。



千葉県計量検定所 白井所長

3. 来賓祝辞

千葉県計量検定所所長 白井幸雄様

本日、ここに千葉県計量管理協議会の第47次通常総会が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

平野会長様をはじめ会員の皆様には、日頃から県の計量行政の推進に深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、計量管理優良事業場、計量管理功労者等の会長表彰を受賞されます方々には、深く敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

この受賞を契機に、その卓越した技能・技術をさらに発揮され、今後の業界発展のために御尽力くださいますよう、お願い申し上げます。

さて、先般発生した東日本大震災により被災された方々には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

この地震による社会・経済への影響は甚大であり、県といたしましても、既存の制度にとらわれない十分な支援を行うこととしております。

なお、国においても様々な特例措置を講じており、計量に関しては、災害救助法が適用された地域での特定計量器の検定、装置検査、基準器検査は8月31日まで有効期間の延長が認められたほか、定期検査及び計量証明検査は6月30日まで猶予されております。

社会情勢・経済情勢いずれも厳しい状況に置かれておりますが、計量検定所といたしましては、計量法に則り、正確な特定計量器を供給するための検定及び定期検査、さらには県民生活の中で計量を正しく理解していただくための普及啓発事業等を積極的に推進してまいりますので、引き続き御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、千葉県計量管理協議会の益々の御発展と本日御列席の皆様のお健勝を御祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

本日は、お招きいただき誠にありがとうございました。

4. 総会成立報告

本日は出席数37、委任状17であり、会員数62の2分の1を超えるので、本総会が成立することが報告された。

5. 議長選出

会則第11条第3項の規定により、会長事業場である住友化学(株)千葉工場 渡辺氏が議長に選出された。



総会会場…熱心に聴講される会員

6. 議事録署名人の選出

議長一任となり、日本燐酸(株)森山氏が議長より指名選出された。

7. 附議事項

第一号議案 平成22年度事業報告について
(報告 第二副会長 三井化学(株)茂原分工場 上田氏)

第47次通常総会議案集のとおり報告し承認された。

第二号議案 平成22年度収支決算報告および監査報告について

(1) 収支決算報告

(報告 第二副会長 三井化学(株)茂原分工場 上田氏)

収入決算額	2,955,222 円
支出決算額	2,252,917 円
差引き残高	702,305 円

議案集のとおり報告し承認された。

(2) 監査報告

(報告者 監事 恵藤計器(株) 河野氏)

平成22年度千葉県計量管理協議会の決算書及び帳簿類を監査の結果、適正であることを認めます。

平成23年4月7日

監事 チッソ石油化学(株)五井製造所
水野谷 禎勇

監事 恵藤計器(株)

河野 篤志

議案集のとおり報告し承認された。

第三号議案 平成23年度事業計画(案)及び同年度収支予算(案)について

(提案及び説明者 第一副会長 J F E スチール(株)
東日本製鉄所 戸村氏)

平成23年度収支予算(案)

平成23年度事業費予算明細(案)

議案集のとおり提案し、承認された。

第四号議案 役員改選(案)について

(提案及び説明者 第一副会長 J F E スチール(株)
東日本製鉄所 戸村氏)

新役員の改選について、理事輪番制にもとづき第266回理事会にて選出した新役員候補について提案し、承認された。

その後、別室にて臨時理事会を開催し、理事の互選により、会長をJ F E スチール(株)東日本製鉄所に、第一副会長をD I C (株)千葉工場に、第二副会長をチッソ石油化学(株)五井製造所に選任することです承された。

総会を再開し、臨時理事会の審議内容を報告し、承認された。

第五号議案 その他について

会員からの提案事項の申し出をお願いしたが、特に提案はなかった。

以上をもって総会の審議事項は全て終了した。

8. 表彰式

I. 表彰委員会審査報告について

(審査報告者 三井化学(株)茂原分工場 上田氏)

(1) 計量管理優良事業場

平成22年12月に実施した計量管理実施状況調査を参考に書類選考、現地審査を行った結果、下記の通り決定し、3月10日の理事会にて承認を受けた。

- ・丸善石油化学(株)千葉工場 殿
- ・(株)フジクラ佐倉事業所 殿



計量管理優良業場表彰
丸善石油化学(株)千葉工場 殿



計量管理功労者表彰
安 偉 殿 古河電気工業(株)千葉事業所



計量管理優理事業場表彰
(株)フジクラ佐倉事業所 殿



計量管理功労者表彰
仲谷 浩二 殿 ライオン(株)千葉工場

(2) 計量管理功労者

事業所推薦及び理事会推薦にもとづき審査を行った結果、下記の通り決定した。

- ・安 偉 殿 古河電気工業(株)千葉事業所
- ・仲谷 浩二 殿 ライオン(株)千葉工場

(3) 優良計量管理技術者

- ・山口 幸男 殿 チッソ石油化学(株)五井製造所
- ・吉野 聡 殿 恵藤計器(株)

上記受賞者に対し会長より表彰状、楯、記念品をそれぞれ贈呈した。



優良計量管理技術者表彰
山口 幸男 殿 チッソ石油化学(株)五井製造所



優良計量管理技術者表彰
吉野 聡 殿 恵藤計器㈱

Ⅱ.平成23年度「計量管理強調月間」ポスター、 標語の表彰について

(審査報告者 計量管理強調月間担当

チッソ石油化学㈱五井製造所 水野谷氏)

応募数 ポスターの部 4点

標語の部 9点

① ポスターの部

特 賞 1名 優秀賞 3名

② 標語の部

特 賞 4名 優秀賞 10名

3月10日の理事会にて審査を行い選出した。

① ポスターの部

特 賞

荒井 英幸 殿 三井化学㈱市原工場

優秀賞

緒方 敏博 殿 出光興産㈱千葉工場

藤田 佳克 殿 出光興産㈱千葉工場

巳扇 宏一 殿 出光興産㈱千葉製油所

② 標語の部 特 賞

・信用は計るあなたの目と心

正しい計量厳しく管理

豊田 茂 殿 出光興産㈱千葉製油所

・正しい計量・正しい管理

そこから生まれる「大きな信頼」

古賀 裕貴 殿 三井化学㈱市原工場

・計量管理は技術の原点

適正管理で築く信頼

植村 昌彦 殿 ライオン㈱千葉工場

・はかるその手で生み出す信頼

つぎへ手渡す確かな技能

石岡 友則 殿

F E スチール㈱東日本製鉄所

上記受賞者に対し会長より表彰状、記念品をそれぞれ贈呈した。

9. 閉会の辞

第二副会長 三井化学㈱茂原分工場 佐藤部長
以上で、すべての議事および報告を終了し、
16時00分閉会した。



表彰者一同及び
三役による記念撮影



生産設備のライフサイクルに応じた最適な 計装・電気のトータルサポートを提供致します

■ 計装・電気のEPCからメンテナンスまで可能

- 基本・詳細設計 ● 工事及び施工管理
- 機器選定、調達 ● 一括保全業務・メンテナンス

■ お客様の視点にそった問題解決

■ トレサビリティ体系の確立による品質保証



ソリューションセンター



計装・電気基本設計



調剤弁メンテナンス



計装・電気施工管理



計測器校正室



総合展示ルーム



旭国際テクネイオン株式会社

本社 東京都新宿区新宿1-1-14
TEL 03-5360-7740 FAX 03-3341-2996

京葉事業所 千葉県袖ヶ浦市椎の森385-3
TEL 0438-60-8601 FAX 0438-60-7602

計量管理優良事業場表彰を受賞して

丸善石油化学（株）千葉工場

この度、千葉県計量管理協議会第47通常総におきまして当工場が「計量管理優良事業所」として表彰を賜りましたことを大変光栄に思っております。これも、千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量管理協議会の皆様のご指導ご支援によるものであり、深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして、当工場の計量管理の概要を紹介させていただきます。

1. 当工場の概要

千葉工場は市原市にあり、1959年の創立以来、原油を精製して得られるナフサを産油国や国内の石油会社から購入し、プラスチック・合成繊維・合成ゴム・塗料等の原料となるエチレン・プロピレン等の基礎石油化学製品を始め、更なる他留分に付加価値をつけた機能性原材料を開発・商品化しています。

1961年に有力化学メーカー5社と丸善石油化学コンビナートを形成した当社は、コンビナートの核となる「エチレンセンター」としてエチレンの生産・供給を開始しました。1964年に第1エチレンプラント、1969年に国内初の年産30万トンの第3エチレンプラントを完成しました。

1994年には年産60万トンと国内最大の生産能力を誇る第4エチレンプラントを、三井化学（株）・住友化学（株）と共同で完成し、現在のエチレン生産能力は国内最大級（69万トン）になっております。工場敷地面積は、759,000m²、社員は509名（2011年7月現在）が働いております。

2. 計量管理の概要

計量器の種類と台数を以下に示します。

(1) 一般計量（測）器

質量計：71台

温度計：7,317台

圧力計：12,847台

体積計：154台

流量計：3,685台

液面計：2,862台

その他：4,897台

(2) 分析計

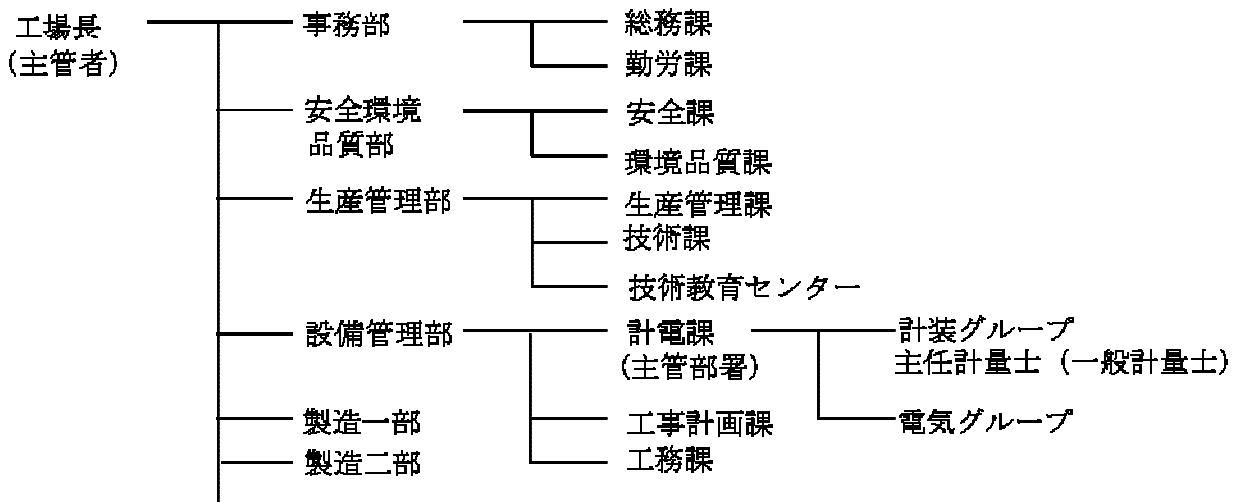
騒音計：1台

振動レベル計：32台

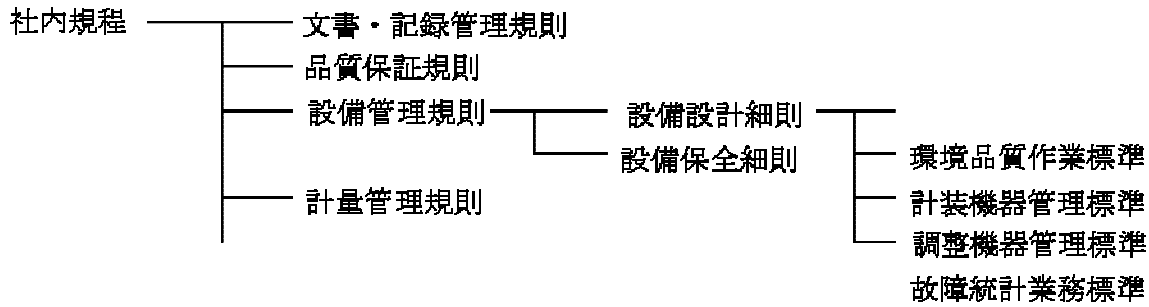
水素イオン濃度計：119台

大気濃度計：76台

3. 計量管理実施のための組織



4. 計量管理規定類



5. 計量器の検査設備

(1) 標準器

基準重錘型圧力計、ダイヤル抵抗器
標準直流電圧電流発生器
デジタルマノメータ等

(2) 検査設備

オシログラフィックレコーダ
クリップオン電流計、絶縁抵抗計
アナライジングレコーダ等

6. 計量器及び計装設備の管理状況

(1) 受入検査

- ① 入荷時、購買部による仕様、数量等の外観検査を実施しています。指定品については、計電課による外観検査含む受入検査を実施しています。
- ② 特殊仕様品については、メーカーでの立会検査を実施しています。
- ③ 機器を設置後、計電課にて性能検査を実施しています。

(2) 定期検査

年間スケジュールを作成し検査を実施しています。

- ① 揮発油税対象メーターは、1回/2年、取引メーターは、1回/年、1回/2年、1回/4年等契約に合わせ分解点検及び検定を実施しています。
 - ② 一般の工業計器は、計装品の種類、重要度毎に検査内容、周期を定めて点検を実施しています。
- ##### (3) 臨時検査
- 計量器、計装設備で精度・機能上疑義が生じた場合は、原因の究明と共に必要な検査項目について臨時検査を実施しています。

(4) その他

定期検査を実施した計測機器・校正機器は、点検年月を記入したシールを貼付しています。

7. 量目及び品質の検査

(1) 原料（ナフサ）

① 量目

取引流量計により連続的に計量しており、1回/年の検定を実施しています。

② 品質

受け入れ時にサンプリングして、性状確認をしています。

(2) 製品（エチレン、プロピレン等）

① 量目

- ・各装置からの留出ラインに生産管理メーターがあり、1回/4年の検定を実施しています。
- ・各ユーザーへの払出ラインに取引メーターがあり、1回/2年又は1回/4年の検定を実施しています。

② 品質

- ・必要により工業用分析計を設置し連続監視行っています。
- ・1日数回のサンプル採取を行い、ラボ分析計による品質管理及び工業用分析計のバックチェックを実施しています。

8. 計量管理に関する改善活動

- (1) 老朽化計器、製造中止計器の更新について計装機器更新要領を定め計画的に実施しています。
- (2) 丸善設備指針の検査作業マニュアルについて体系整備及び内容の見直しを実施しています。

9. ISO関連取得状況

- (1) ISO9002 (97年12月取得)
 (2) ISO9001 (03年12月取得)
 (ISO9002から切替)
 更新: 06年6月
 (3) ISO14001 (97年11月取得)
 更新: 02年6月、05年10月
 08年8月

10. 教育訓練**(1) 一般従業員****①社内教育**

社内規定に基づき社内教育スケジュールを設定し計画的に実施しています。

②社外教育

必要に応じて、社外講習会又はメーカーのトレーニングセンターへの派遣を実施しています。

(2) 計量管理要員**①社内教育**

社内教育スケジュール又は課内年間教育スケジュールに基づき計画的に実施しています。

②社外教育

- ・社内教育を補完する内容を選択して、社外講習会又はメーカーのトレーニングセンターへの派遣を実施しています。
- ・メーカーの新製品紹介や情報交換会を適時、実施しています。

(3) 協力事業場

①協力会社との間で、設備保全協力会の計電部会を毎月1回開催し、ISO(環境・品質)上の外部伝達の実施や安全教育・訓練・情報交換を実施しています。

② 同業他社との間で、研修見学会、技術情報交換会を定期的に行っています。

- ・丸善コンビナート(11事業所)計装懇話会
- ・石油化学工業協会(石化協)、他

以上、当社における計量管理の概要を紹介させて頂きました。

今回の受賞を励みに、更なる計量管理の向上に努める所存でございますので今後とも関係各位のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

計量器・計測機器

製造・販売・修理・保守管理

計量士による代検査・ISO関係検査

計量器・計測機器に関する御用は何でもご照会下さい

各種計量器販売・保守管理に貢献する



ETOH

恵藤計器株式会社

本社・工場 (〒261-0002)

電話 043(242)0505 (代表)

FAX 043(243)2519

E-mail etokeiki@saturn.plala.or.jp

計量管理優良事業場表彰を受賞して

株式会社フジクラ 佐倉事業所

この度、千葉県計量管理協議会第47次通常総会におきまして、当事業所が「計量管理優良事業場」として表彰を賜り、大変光栄に思っております。これも千葉県計量検定所をはじめ、千葉県計量協議会会員皆様のご指導・ご支援によるものと深く感謝しております。

この機会に紙面をお借りして当事業所の計量管理の概要について紹介させていただきます。

1. 当事業所の概要

フジクラは、1885年の創業以来、電線・ケーブル製造で培った“つなぐ”テクノロジーでくらしと社会の幅広い分野に製品をお届けしてきました。佐倉事業所は、昭和40年1月に緑豊かな自然に恵まれた佐倉市の高台に設立され、以来、優れた一貫生産体制と最新鋭の設備、万全の安全対策のもとで発展を続けてまいりました。フジクラの主力工場・マザー工場として、世界に誇る光ファイバ通信ケーブルをはじめ光伝送システムや電子部品などの開発・製造やフジクラのコア技術を生み出す研究開発を行っています。

また、リサイクル活動や地球環境保全への積極的な取り組みと確固たる実績も、当事業所の大きな特色の一つです。ますます発展するユビキタス・ネットワーク社会に向け、常にその主軸となる最先端の技術をカタチにしつつ、これからも未来へつながる新しい製品をお届けしてまいります。

・主な製品

光ファイバケーブル・光ファイバ融着接続・光ネットワーク機器・フレフレキシブルプリント配線板（FPC）・ウエハレベルパッケージ（WLP）・放熱モジュール等

2. 計量管理の概要

計量器の機種別台数（概数）を以下に示します。

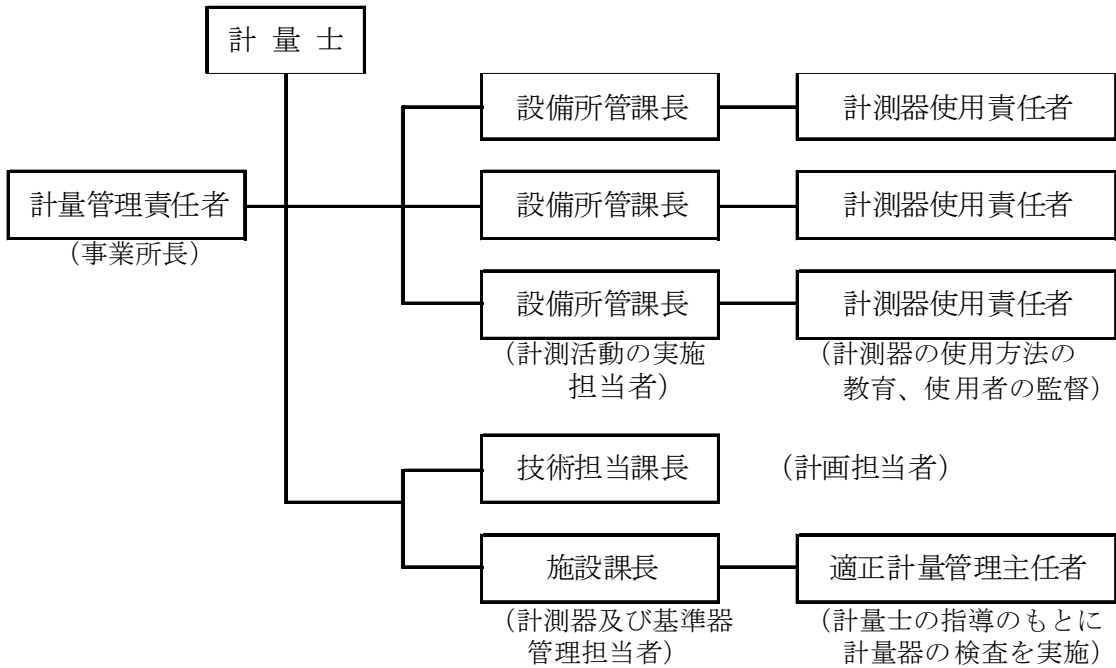
①一般計量（測）器	②分析計	
・長さ計 2226台	・騒音計 8台	
・質量計 613台	・振動レベル計 21台	
・温度計 2183台	・ガラス電極式 162台	
・圧力計 248台	・大気濃度計 159台	
・流量計 38台	③その他 11200台	



株式会社フジクラ 佐倉事業所風景

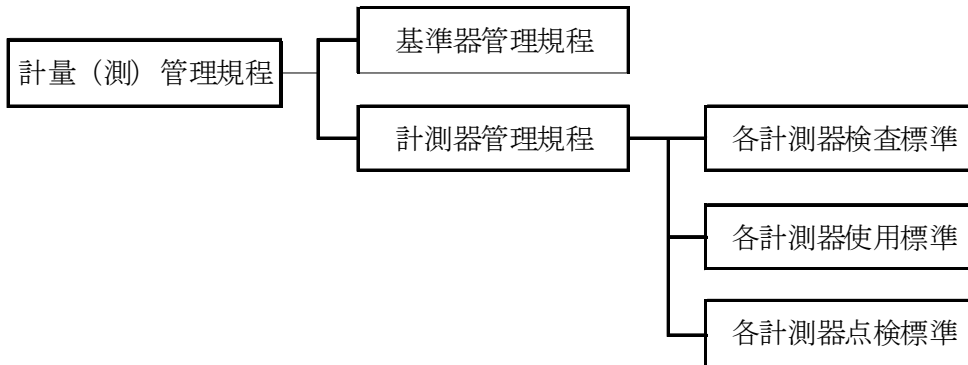
3. 計量管理実施の組織

組織図



4. 計量管理規程類

①計量管理規程等の体系図



②計量に関する規程類及び標準類の概要

名 称	概 要
計量 管理規程	体系的計測管理活動について組織及び職責等を定める。
基準器 管理規程	計測器の基準となる基準器及び副基準器の管理について定める。
計測器 管理規程	各計測器の精度維持を行う為の各担当の職責や管理活動等を定める。
各計測器 検査標準	各計測器の検査規格や校正手順について規定しています。
各計測器 使用標準	各計測器の基本的な使い方について規定しています。
各計測器 点検標準	各計測器の日常及び月の点検について規定しています。

5. 計量器の検査設備

①基準器

- ・1級基準分銅
- ・2級実用基準分銅

②標準器

- ・0級ブロックゲージ
- ・標準抵抗器
- ・標準コンデンサ
- ・ガラススケール
- ・1級鋼製巻尺
- ・光ファイバ 等

③検査設備

- ・電子天びん
- ・環状力計
- ・ガラス製温度計
- ・指針測微器
- ・ダイヤルゲージテスタ
- ・巻尺検査台
- ・圧力発生器
- ・光パワーメータ
- ・デジタルマルチメータ
- ・精密圧力計
- ・温度記録計
- ・圧力計検査台 等

6. 計量器及び計装設備の管理状況について

①受入検査

購入及び外注修理したものは、検査標準に基づき計量士または適正計量管理主任者が検査しています。

②定期検査

- イ. 使用中の計測器及び計装設備について、設備担当課と設備所管課の協議により計測機器のランク付けを行い、定期検査対象品と検査周期を決定します。
- ロ. 検査の手順としては、計測器使用責任者が毎月社内イントラで自職場の定期検査対象を検索し施設課に依頼する。
- ハ. 定期検査は、各検査標準に基づき計量士または適正計量管理主任者が実施する。
- ニ. 外部委託として、はかり・マイクロメータ・ノギス等を行っています。

③臨時検査

以下の3点を臨時検査とします。

- イ. 突発故障で修理した場合
 - ロ. 計測器及び計装設備に疑義が生じられた場合
 - ハ. 点検（日常、定期）で異常が発見された場合
- いずれも、計量士または適正計量管理主任者が行う検査である。しかし社内にて修理不能の場合や校正に必要な基準器等がないものについては外部に委託する。

7. 量目及び品質の検査

①原料

- イ. 量目（ポリエチレン、酸素、窒素等の重量）

トラックスケールにより全量検量され。このトラックスケールは、年2回定期検査を実施しています。

- ロ. 品質（ポリエチレン、鋼線、繊維類他）

原料の入荷に際しては、原料毎に検査され、購入品の規格、材料規格等が定められており、不良防止に努めています。

②製品

- イ. 量目（製品の長さ）

ケーブルは、長さで売られるため、長さを管理する計測器（計尺器）は、日常、月及び年のオーダーで点検検査される。

- ロ. 品質（ケーブルの品質）

品種毎にフローチャート化され、検査項目、点検、管理項目が工程毎にわかるようになっています。それに付随してロットの作り方、抜き取りの仕方、記録、報告書の様式が定まっています。

8. 計量管理に関する改善活動

定期検査の集計及び分析等を行い周期の見直しや検査標準の見直し等を実施している。また、老朽化した計測器の更新を進めています。

9. ISO関連取得状況

ISO9001	1995.1	光機器事業部
	1996.4	光・通信ケーブル事業部
ISO14001	1998.9	佐倉事業所
ISO13485	2008.2	光応用製品事業推進室

10. 教育・訓練

①一般従業員

各職場に配属時、その職場の計測器使用責任者が主な計測器の使用方法を教育しています。

②計量管理担当者

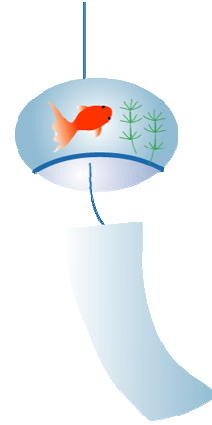
教育訓練計画書を作成し検査標準に基づきOJTを主体として実施しています。また、計量管理協議会主催の講習会へ参加しています。

③協力事業場

計量管理強調月間に計測器の管理方法及び検査方法等を指導しています。

以上、当事業所における計量管理の概要を紹介させて頂きました。

今後も、今回の受賞を励みに更なる計量管理の向上に努める所存ですので、今後とも関係各位のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



スーパーインテリジェント液面計 **FW-9000N** シリーズ

多くの納入実績のある **高信頼性で耐久性に優れている高精度** の液面計です



特長:

- 電子回路は全てドラム室と完全に隔離された電気室に収納
- マイコン制御の精密ステッピングモータの採用により超高精度
- 強力な自己診断機能による高い信頼性
- 完全無接触式バランスの採用による高い耐久性
- 避雷性能の強化による信頼性の向上 (IEC61000-4-5のレベル4以上に対応)
- TIS, ATEX, NEPSI, KOSHAIに適合

仕様:

使用温度(液温) : - 200 ~ + 300℃

使用圧力 : 3.0MPaの高圧仕様に対応

TIF 東京計装株式会社

計量器製造事業登録事業所・高圧ガス試験製造認定事業所
 本社: 〒105-8558 東京都港区芝公園1-7-24 芝東宝ビル
 TEL 03-3434-0441(代) FAX 03-3434-0455
 ホームページ <http://www.tokyokeiso.co.jp>
 問い合わせE-mail anything@tokyokeiso.co.jp



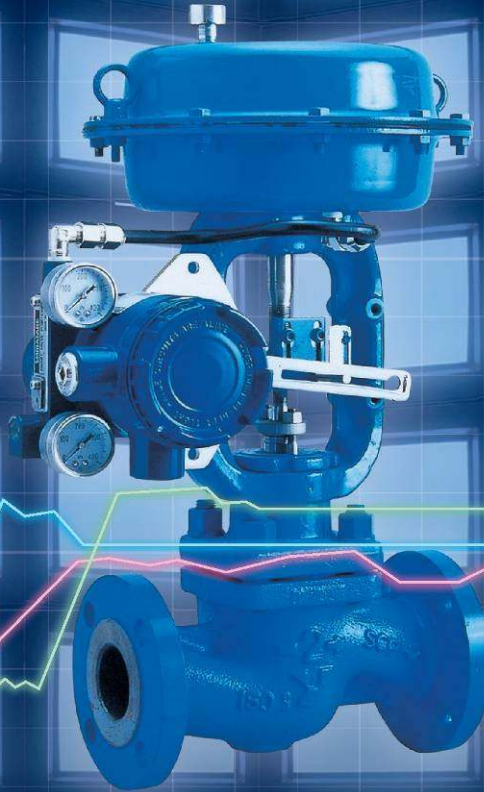
■ 仙台営業所
TEL 022-773-1451(代)
 ■ 富山営業所
TEL 076-493-8311(代)
 ■ 茨城営業所
TEL 029-248-0866(代)
 ■ 大宮営業所
TEL 048-652-0388(代)
 ■ 長野営業所
TEL 0263-40-0162(代)

■ 厚木営業所
TEL 046-223-1141(代)
 ■ 静岡営業所
TEL 0545-64-3551(代)
 ■ 名古屋営業所
TEL 052-653-4501(代)
 ■ 大阪営業所
TEL 06-6312-0471(代)
 ■ 岡山営業所
TEL 066-421-6511(代)

■ 徳山営業所
TEL 0834-21-0220(代)
 ■ 北九州営業所
TEL 083-521-4170(代)
 ■ 熊本営業所
TEL 096-375-7327(代)

azbil
人を中心としたオートメーション

「見廻る」から「見守る」へ。



調節弁の稼働状況をオンラインで監視・把握できる
調節弁メンテナンスサポートシステム、
「Valstaff™(バルスタッフ)」新登場。

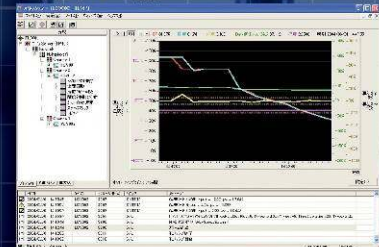
調節弁に相付けられたスマート・バルブ・ポジショナから、ネットワークを通じて調節弁の稼働状況や性能に関する情報を管理室のPC上を集約。調節弁の状態を画面上で瞬時に把握できるため、トラブルへの速やかな対応をはじめ、メンテナンス業務の効率化が期待できます。

特長

- 4-20mAアナログ計装信号に重畳させるHART通信技術を採用。既存のプラントでフレキシブルにご活用いただけます。
- メンテナンスの管理サイクルを考慮した4つのモード設定。オペレーション・セットアップ/モニタリング/検査/ポジショナ調整・設定
- スマート・バルブ・ポジショナは、AVP3000Alphaplusシリーズの一体形、分離形、回転弁専用の3タイプからプラント特性に合わせて選択可能。
- 動特性の劣化の進展を把握できる、弊社が独自に開発したスティック・スリップ診断アルゴリズムを搭載。

Control Valve Maintenance Support System
Valstaff
※Valstaffは株式会社 山武の商標です。

モニタリング・モード画面



株式会社 山武
アドバンスオートメーションカンパニー
千葉営業所 TEL 0436-61-5151

製品のお問い合わせ、計装のご相談は…
コールセンター ☎ 0466-20-2143
< COMPO CLUBアドレス > <http://www.compoclub.com/>

<http://jp.azbil.com>

azbilは山武グループの新しいシンボルマークです。

《計量検定所だより》

○平成23年度「計量正確強調月間」行事計画

1. 目的

計量思想及び計量管理思想の普及推進を図り、併せて適正な計量取引を確保するため、11月1日の計量記念日を中心に1ヶ月間各種行事を展開し、県民の合理的な生活の向上に寄与する。

2. 期間

11月1日(火)から11月30日(水)まで

3. 行事内容

(1) 計量記念日知事表彰の実施

11月1日(火)に、計量管理実施優良事業場(1事業場)、計量関係功労者(1名)の知事表彰を行う。

(2) 「計量管理基礎講習会」の開催

計量法の概要及び計量管理実施の基本事項の普及等を目的として、生産業種の中小企業等を主な対象として平成23年11月9日(水)に千葉市暮らしのプラザにて開催する。

(3) 家庭用計量器無料検査

一般家庭で使用されているヘルスマーター・キッチンスケール・ベビースケール・体温計及び血圧計の精度検査を県内市町村で実施する。

(4) 計量教室の開催

一般の消費者の方々を対象にした講習会を行う。座学の他に、実際に商品を購入していただき、その内容量の検査も実施する。

(5) 計量展の開催

県内市町村及びその関係団体が開催する「消費生活展」「産業まつり」等へ、消費者を対象に暮らしに関わるいろいろな計量について、その普及啓発を目的とした内容の「計量展」として参画する。

(6) 立看板の掲出

広報のため、計量検定所正面に立看板を掲出する。

(7) 関係計量団体へ月間行事の協力要請

「千葉県計量協会」へ自主的な企画による月間行事展開についての協力要請を行う。

(8) その他

計量検定所ホームページに検定所からのトピックス(お知らせ)を掲載します。最新の情報をご確認ください。

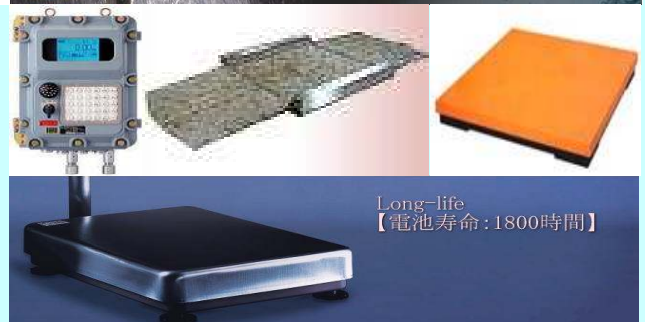
http://www.pref.chiba.jp/syozoku/f_keiryo/



Waterproof
【防水仕様】



It's a new standard.



Long-life
【電池寿命:1800時間】

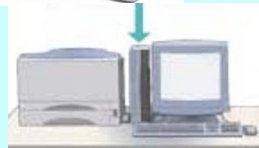
はかりのことならなんでも

各種はかり製造並びに販売

点検・修理・据付全般

制御盤設計・製作

計量処理ソフト設計・製作



Kubota
株式会社クボタ計装

千葉県船橋市藤原3-19-15

TEL 047-430-9031

《理事会だより》

1. 千葉県計量協会

平成23年度定時社員総会が、平成23年6月28日（火）オークラ千葉ホテルにおいて開催され、当会から会長以下2名が出席しました。

社員総会に先だち会長表彰が行われ、当会の
渡辺 久夫様（住友化学千葉工場）
上田 明久様（三井化学茂原分工場）
が計量関係功労者表彰を受賞されました。

引き続き、付議事項として平成22年度事業報告、同年度収支決算及び監査報告の承認、平成23年度の事業計画案、同年度収支予算案の承認、定款変更の件について審議され、承認されました。

2. 発表会・研修見学会の開催

日 時：平成23年10月6日（木）

見学先：株式会社フジクラ 佐倉事業所

発表会：優良事業場として表彰された

（株）フジクラ佐倉事業所、及び

丸善石油化学（株）千葉工場に計量管理状況について、発表して頂きます。

3. 11月「計量正確強調月間」の行事

講演・技術研修会として県計量検定所と千葉市及び県計量協会が共同開催する「計量管理基礎講習会」の参加を11月に計画しています。

議題等詳細は未定ですが、後日会員に案内をお出しします。



平成23年ポスター特賞作品

荒井 英幸 殿 三井化学(株)市原工場

4. 11月「意見交換会」の行事

計量・計装の管理について会員相互の情報交換と交流を目的として意見交換会を計画しますので、多くの参加を希望します。

意見交換内容は希望を後日募集いたします。

日時：平成23年11月25日（金）

5. 研修見学会の開催

日 時：平成24年2月22日（水）～23日（木）

見学先：県外へ一泊研修会を計画します。

後日会員に案内をお出しします。

6. その他

近々、計量管理協議会HPを斬新します。是非、新しくなったホームページを訪問して下さい。

<http://www.geocities.jp/chibakeiryokanri/>

理事会において担当者が決定いたしました。

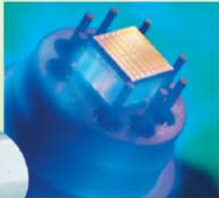
千葉県計量管理協議会実務担当者名簿(平成23年度)

氏名	事業場名	事業担当
戸村 寧男 (会長)	JFEスチール(株) 東日本製鉄所(千葉地区)	研修委員長 広報委員
伊藤 幸彦 (第1副会長)	D I C(株)千葉工場	広報委員長
水野谷 禎勇 (第2副会長)	チッソ石油化学(株) 五井製造所	表彰委員長
河野 篤志 (監査・理事)	恵籐計器(株)	研修副委員長 研修見学会
鈴木 豊 (理事)	日本サイロ(株)	研修副委員長 意見交換会
松岡 市男 (理事)	電気化学工業(株) 千葉工場	意見交換会 講演会
小澤 典夫 (理事)	(株)荏原製作所 富津工場	意見交換会 講演会
高橋 修 (理事)	昭和産業(株)船橋工場	意見交換会 講演会
佐保 文彦 (理事)	旭国際テクネイオン(株) 京葉事業所	研修見学会 発表会
林 敏彦 (理事)	(株)山武千葉営業所	研修見学会 発表会
齋藤 秀一 (理事)	日本曹達(株)千葉工場	研修見学会 発表会
渡辺 久夫 (理事)	住友化学(株)千葉工場	表彰委員
東 将 (理事)	JFE鋼板(株)千葉製造所	広報委員
石川 克彦 (監査・理事)	三井造船(株) 千葉事業所	広報委員

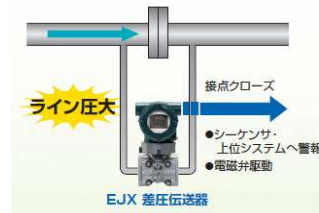
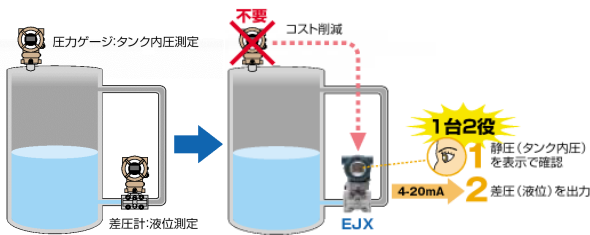
YOKOGAWA ◆

ご存知ですか？
デジタル・センシングの力！

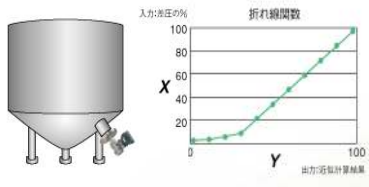
DPharpシリーズの大きな特長である「シリコンレゾナントセンサ」は、ヒステリシスが非常に小さいことで知られる単結晶シリコンのチップに、マイクロマシニング技術で2つの振動子を埋め込んだ、再現性・長期安定性に優れたセンサです。発売以来200万台以上の販売実績を持ち、世界のお客様より高い評価をうけています。



DPharp EJX™

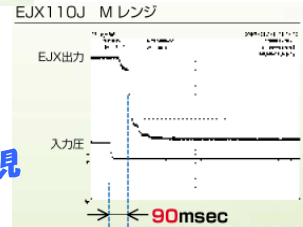


差圧/静圧を1台で
マルチセンシング



折れ線近似出力機能で
異形タンク等ノンリニア特性にも対応

世界最高水準の
高速応答を実現



新 Asset Excellence を実現する
フィールド機器設定/情報管理ソフトウェア
FieldMate™
Versatile Device Management Wizard

横河電機株式会社

■千葉支店 〒299-0111 市原市姉崎867 TEL.0436-61-1388

横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社

■東関東支店 〒299-0111 市原市姉崎867 TEL.0436-61-2381

総合代理店

横河商事株式会社

■千葉支店 〒299-0111 市原市姉崎867 TEL.0436-61-4310

東京電機産業株式会社

■千葉支店 〒260-0825 千葉市中央区村田町1211 TEL.043-300-8611

■銚子営業所 〒288-0802 銚子市松本町1-993 TEL.0479-23-3381

平成22年度 計量管理優良事業場 ・丸善石油化学株式会社 千葉工場



Chemiway

描きたい夢が、
いつぱいある。

since 1959

化学、夢への道
丸善石油化学株式会社
<http://www.chemiway.co.jp/>

平成22年度 計量管理優良事業場 ・株式会社フジクラ 佐倉事業所



Fujikura

“つなぐ”
テクノロジーで
未来をひらく

大切な人と手をつないだときに
伝わる、ぬくもりとやさしさ。
そして安心感。
私たちの仕事は、
ぬくもりを伝えることは
出来ないかもしれません。
でも、最先端の
テクノロジーを通じて、
心と心とを、
“つなぐ”お手伝いができます。

人と人の想いを
“つなぐ”会社でありたい。
それが、フジクラの願いです。

株式会社フジクラ 東京都江東区木場1-5-1 <http://www.fujikura.co.jp>